

第6回スリーピークス八ヶ岳トレイル モニタリングレポート

1. 大会概要

- ・大会名 第6回 スリーピークス八ヶ岳トレイル
- ・コース 八ヶ岳中信高原国定公園を含む全長 38 kmと 23 kmの2コース
- ・開催日時 平成30年6月10日（日）
スタート 38 kmの部 7時00分 / 24 kmの部 7時30分
- ・天候 晴れ（スタート地点・スタート時刻）
- ・参加人数 38 kmの部 245人 / 23 kmの部 556人

2. 環境影響モニタリング

(1) 事前の環境影響モニタリングの概要

6月8日、9日の2日間 地点①～⑪の調査実施

(2) 事後の環境影響モニタリングの概要

6月11日～12日の2日間 地点①～⑪の調査実施

(3) 環境影響モニタリング結果

- ・全地点において、ランナーの影響と思われる踏み跡の痕跡や、植生の損傷等、明瞭な変化状況は確認できなかった。

3. 利用影響モニタリング

- ・利用影響モニタリングを6月10日（日）の8：00～15：00に実施。

実施エリア：1) 天の河原 2) A18分岐 の2か所で実施

アンケート結果については別紙「登山者アンケート結果」参照。

- ・ランナーと登山者の接触等は生じていなかった。
- ・すれ違いの際は、ランナーが登山道脇に立ち止まり登山者優先を心掛けた。
- ・天気予報が直前まで雨予報だった為、例年と比べ登山者が少なかった為、そもそも登山者との接触が少なかった。

4. 大会等の関係者（ランナー含む）からのコメント、苦情

- ・事前の競技説明会等で十分に説明を行ったため、苦情は発生しなかった。

5. その他

- 1) 環境調査を第5回大会終了時から、ほぼ毎月実施している。

大会前後、夏山シーズンなど、登山者が多い時期の登山道は比較的安定していて、荒れている様子はないが、冬山で登山道に雪が残っている時期は、アイスバーンを避けたり、雪でルートが見えにくかったせいか、登山道以外の場所を通行している登山者が多かった。

- 2) 2018年の夏に発生した、台風21号、24号、25号の影響を受け、モニタリング箇所ではない、八ヶ岳横断歩道に土砂崩れが数箇所発生している。

環境モニタリングを実施している箇所は、倒木が数本あった程度で登山道に大きな崩れが起きていないことを確認した。

3) 今後も、環境影響モニタリング・利用者影響モニタリングは同じ場所を実施したい

問い合わせ先

スリーピークス八ヶ岳トレイル実行委員会 事務局

担当 事務局長 松井裕美

住所：〒408-0044 山梨県北杜市小淵沢町 1076-1

電話番号：080-4326-0550

メールアドレス：service@trail38.com